

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アミ		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達のやりたい活動を叶えていく方針が事業所に通う子ども達の満足度に現れて良かった。	子ども達のアセスメントには事業所でやりたいことを書く欄が設けてあり、個別支援計画にもできるだけ反映できるように工夫している。 土曜や祝日はお昼ご飯も自分で何が食べたいかを自分で決める。(ほっともっと、パン屋さん、マック、コンビニなど)	さらに多くの希望にこたえられるよう職員の増員や研修などに力を入れて行きます。
2	社会参加を目指すために戸外活動が多い。色々な場所に行くことで多くの人々と接する機会が増えるのでコミュニケーションスキル(SST)を磨く機会が多い。	高学年の児童が率先して下級生の児童を活動参加できるように声をかけてもらっている。自分のやりたいことを素直に上級生や職員に発信できるような雰囲気づくりを心掛けている。	様々な活動の様子を保護者の皆さんにも可視化できるように工夫していきます。
3	土曜日や祝日の活動が楽しい。平日では行けない遠出の活動が多い。市外や県外の公園やイベントにも参加している。	同じ年代の児童と多く触れ合う機会を作ることで子ども社会の参加のルール(遊具で遊ぶ、順番を守る、譲り合う)などを学ぶことができる。	子ども達が住んでいる地域の社会資源をより活用できるようにアンテナを高くして安心して過ごせる場の提案ができるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	綿密に計画された活動が苦手。戸外活動が多いため天候に左右されることがある。	子ども達が望むのは今やりたい事が多いので、自己決定や自己実現を目指していく中で数日前に活動が変わることもある。	現在も行っているが選択肢をいくつか絞って計画性をあげていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		アミ		公表日		R7年4月1日		利用児童数		18		回収数		18	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		16	1		1								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		13	1		4								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		13			4								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。		17			1	・工作室や学習スペース、ブロックや楽器遊びなど活動に合わせた部屋やスペースがあって良いと思います。							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		15	3										
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		15	3		1	・まだ公表されていない。							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		18				・定期的なモニタリングや月ごとの活動報告があり子どもの課題がよくわかります。							
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		16	1		1								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		17	1										
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		17	1			・公園に行ったときなど、どのような目的でその公園を選んで行っているかわかると嬉しい。 ・様々な活動があり、本人の希望に合わせて行われているのでありがたいです。							
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		8	1	1	8								
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		16	2										
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		17	1										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		15	1	1	1	・ペアレントトレーニングなどを学ぶ機会があったら参加したいです。 ・保護者会があり他の保護者と情報交換する機会はあるがペアレントトレーニングについてはよく把握していない。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		17	1										
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		13	5										
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		15	3										
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		13	2	1	2	・季節に合わせた家族参加のイベント開催があり子どもと楽しませてもらっています。まだまだ感染症の影響で中止になることもありますが交流できる機会があって良いです。 ・保護者同士の交流に参加したいと思います。							

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	3			・いつでもLINEできる。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			3	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			2	・保護者会時にマニュアルのファイルを見せて頂きましたが、よく作られていると思いました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	1	1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			・土曜日に利用が減ってきました。計画が見えると子どもにも伝えやすいです。 ・先生方とも打ち解けていて本人も楽しく通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	2			
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			・いつもありがとうございます！

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アミ		公表日		R7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		個別に話せる空間もある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別に話せる空間もある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		全員参加で行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年アンケートを取っている。意向も聞いている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		意見を聞いて改善できる時には行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7			外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に内部研修が行われている。外部研修にも参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントは本人、保護者にも行い計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全員で各々について話し合ったり情報提供をしたりしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全職員がサービス計画を確認して支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		毎日の記録、定期的な個別会議を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		子ども達には何が必要なのかなど各児童について全職員が意見を出している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼では前日の申し送りや報告など、昼礼では今から受け入れる児童の送迎確認や活動内容尾について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		職員のグループラインで共有し、次の日の朝礼でも確認している。ヒヤリハットや振り返りシートなどを活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日、記録をしている。記録者の確認など漏れがないようにしている。	毎日、ひとりひとりの利用児童について記録している。気になることは都度話し合いを行っている。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子ども達の意見を聞いて自己決定につなげている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校とは電話やFAXなどで連絡を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		電話やFAXなどで連絡を取っている。時間割や行事のコピーを取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	相談員の情報で確認している。	相談員頼みでなかなか連携がとりづらい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	研修に参加している。	連携はない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		子ども支援部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎日、送迎時に伝えるようにしている。	送迎時だと長時間話すことができない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		必要に応じて管理者が対応している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		保護者会で説明したり契約時に行っている。モニタリング時に必要に応じて行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者への細かな確認はLINEの活用と文書の作成をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		毎年、青少年自然の家を利用し、親子参加の機会を作っている。お別れ会（卒業時）を毎年行う予定で、その時に親子参加のレクリエーションを行う。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		管理者への報告をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		Instagramを活用している。イベントの報告は文書の作成も行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		気を付けています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		分かりやすいように伝える工夫をします。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		毎週木曜日に地域の皆さんの生協の受け取り場所として一部開放しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者会の時にマニュアルを見ていただいています。避難訓練の様子を文書にしてお知らせしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回の避難訓練実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	以前はエビペンの必要な児童がいましたが母親と細目に連絡を取り合い確認を行っていました。	現在は医師の指示書が必要な児童はいません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		各車両の車輛運行表に主な活動先の避難先を載せています。保護者会で保護者の皆さんに見ていただいています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		保護者会の時にマニュアルを見ていただいています。避難訓練の様子を文書にしてお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの検討会を行ったりしている。	ひと月毎の定期会議を行う予定です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		法人内の各事業所で研修参加者を募って全体の報告会（研修）を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			現在、身体拘束を行っていません。	